

連載

もつと



知りたい 地域医療

第三十六回

町立下川病院 看護師長 矢野 眞由美



皆さんこんにちは。2月にも訪問看護で掲載させていただきました矢野です。

今回は年度が替わり、私自身もこの春から町立下川病院の看護師長となりました。ご挨拶を兼ねて自己紹介させていただきます。

数十数年前に下川町で生まれ、中学卒業するまで下川で生活をしていました。看護学校に進学し、旭川・札幌で病院勤務（整形外科病棟・手術室、呼吸器科病棟・癌末期患者様対応、療養病棟勤務など）、訪問看護事業所（訪問看護提供・管理業務）で勤務してまいりました。

看護師になってからは結婚と出産以外は仕事を続けてきました。美しい話というわけではありませんが、専業主婦は向いてはいないようで子供が1歳になるころに仕事を再開し2人目を産後、産後休暇と育児休暇3か月で復帰しました。毎日が主婦業・親業・看護師業で追われる毎日でしたが、それも良い経験として今があるように思っています。

若い頃は、あまり目的意識がはっきりしないままに勤務をしていたように思います。結婚・出産・子育て、親族との別れなどがあり看護観も変わってきたよ

うに感じます。その中で人との出会いや別れは重要なものであり人生において大切な選択だったり、その時間を悔いなく過ごすことの大切さなどを深く感じました。

その思いを看護師として形にできないか、人との関わり方の在り方を見直し今後に生かしていけないか？この町で皆様に寄り添える看護、医療の提供をさせていただけないかと思いました。

夫の両親も他界し、親は私の母一人になり、子供は手を離れ今後は下川で一人暮らしの母に手が必要になることを考え下川へ単身で

来ることを決めました。

母は一人暮らしを長くしていたこともあり、同居はせずに近くに部屋を借りて生活しています。お陰様で母も一人暮らしが継続できていますので仕事に専念させてもらっています。

地域の皆様には母も私も優しいお言葉をかけていただきありがたい気持ちです。この町で看護人生を終えられるよう全力で歩んでまいります。一緒に働く皆さんやこの町に住まわれている皆さんに選ばれる看護師に、選ばれる病院になるようこれからも努力してまいります。末永く宜しくお願いいたします。



■お問い合わせ

町立下川病院

☎・☆4-2039

